

剛志の歌

時雨音羽 詩
中山晋平 曲

剛志の歌

- 一 群馬の南 大利根の
流れはるかに 暗れわたり
岸の草ぐさ 咲き出でて
ありし昔の 声をさく
- 二 赤城は覚めて なたらかに
慈愛の光 みちる頃
桑園わたる 朝風に
剛志の心 傳へゆく
- 三 廣瀬の流れ 絶え間なく
うつる浅間の 夕けむり
野山に力 みちみちて
のびる若葉に そそぐ雨
- 四 薊の白さに 繰る糸の
つきぬ力を あはせつゝ
輝く空の 陽のごとく
このふるさとを 護ろうよ